

発話を引き出す語彙の育成

石井 亨

(東京都江東区立第二南砂中学校)

1. 英語で身近な語を説明

英語は使うことによって身につけさせたい。限られた授業時数の中で Speaking による表現活動を設定するのは難しいが、昨年度は3年生の11月に Explanation test を設定してみた。

2. Explanation test(説明テスト)の内容と計画

Explanation test とは次に挙げる3つのカテゴリーに分けられた単語を英語で説明するテストである。

(1) 1時間目：説明テストについての指導

Home (家にあるもの) : fridge, microwave, washing-machine, vacuume-cleaner, air-conditioner, pillow, scissors

Town (町にあるもの) : bank, post office, convenience store, bakery, library, drug store, hair-salon

Jobs (職業) : barber, dentist, carpenter, florist, shopkeeper, vet, interpreter

まず Home の7語の単語カードを提示し意味を確認する。次にリスニング・クイズとして教師が1語ずつ英語で説明し、提示した語の中から当てさせ、次に Town, Jobs と進めた。このように単語を英語で説明するテストを行うことを告げ、プリントで詳細を指導した。以下はテストの手順である。

- ① 生徒は廊下にいる教師の前のいすに座る。机の上にはカテゴリー別のカードが置いてある。
- ② 生徒は裏返しになったカードの山から1枚を取る。このときカードは教師に見せない。生徒はカードに書かれた単語を言わずにその語を英語で説明する。カードには、前もって練習した語が初めて見る語(後述)のどちらか1語とそれを示した絵

が提示されている。

- ③ 教師がそのカードに書いてある1語を当てたら、生徒は次のカードを取り、説明する。
- ④ 説明できなければ生徒はカードをパスできる。
- ⑤ 3つのカテゴリーを順番に1枚ずつ説明する。
- ⑥ 1人のテスト時間は2分30秒。

(2) 2時間目以降

各授業最初の10分程度、Explanation test 練習の活動時間を確保し、かつ教科書などを進めていった。この方法で計7時間を当てテスト当日に向けて準備をしていった。

3. 発話を引き出す語彙指導

Explanation test では以下のことについて注意し指導した。

(1) 身近な語彙

生徒にとっては身近な語彙が説明しやすいので、Home (家にあるもの) と Town (町にあるもの) を、また2年生で行った職業体験学習から Job (職業) のそれぞれの語彙を説明する対象として選んだ。

(2) 文型と語彙の考慮

生徒がその語を説明できるか確かめるために、既習の文型や語彙で説明文を作成してみた。

(3) 説明をするときの順序と視点

① 最初にカテゴリーを言う

Home は thing, Town は place, Job は person を使うことにした。これらの語彙は汎用性が高いと考えたからである。

This is the thing. (place, person)

② Thing, Place, Person の説明をするときの視点

Thing (物) の場合：

- ・いつ、何のために使うか(使えるか)を言う。

We use it when we study. We can put a pencilcase or books on it. → Desk

- ・関係代名詞で1文で言ってもよい。

This is the thing that we use when we study.

Place(場所)の場合:

- ・いつどんな時に何のために人々が行くかを言う。

We go to this place when we buy a lot of variety of things. → Supermarket

そこに何があるか(どんな人がいるか)を言う。

It has a lot of children about 3 to 6 ages. → Kindergarten school

Person(人)の場合:

- ・その人がどんなことをするか(できるか)を言う。

This is the person. He can train dogs. He takes good care of dogs. → Dog trainer

- ・関係代名詞で1文で言ってもよい。

This is the person that can train dogs and take good care of them.

- ・その職業の人が何を持っているかを言う。

The person has some wonderful cameras. → Photographer

- ・その職業は何(誰)のためにどこで働くかを言う。

The person works to catch fish in the sea. → Fisherman

4. 授業での指導

(1) 2時間目以降の指導

説明する際の手がかりになるように、語とその絵をつけたプリントを配布し、ペア・ワークができるように何度も練習した。ペア・ワークでは顔を向き合うように机をつきさせて、教師が片方の生徒だけに見えるように単語を提示し、パートナーに説明する練習をした(1語ずつ、説明する役割を交代した)。ペア・ワーク中に生徒の発話をモニターし、よい例や改善すべき言い方を拾い、全体にフィードバックした。またうまく説明できたパートナーの言い方を生徒に紹介させ、その説明の仕方を褒めていった。さらに知りたい語などの質問を拾い上げ、説明する時にはいろいろな視点からのものの見方があること、とその説明方法を挙げていった。

(2) テストの準備

テストでは、それまでに学習してきた単語に未知の語を加えた。新たに加える語は即興で説明できるように、同じカテゴリーで、生徒がよく知っているもの、既習の語彙で説明できそうな語を選んだ。

<新たに加えた語>

Home: bed, table, television, chair, knife

Town: hospital, restaurant, movie theater, museum, barber shop

Jobs: teacher, taxi driver, cook, doctor, nurse

(3) テスト当日

テスト終了者がカードに新たに加えた語を、未受験の他の生徒に漏らさないように指導した。

(4) テスト結果

1人2分30秒で、平均10語、最高20語を説明できた。新たに加えた語を即興でうまく説明できた生徒もいた。

(例) This is the person. She works in a hospital. She helps a doctor. (nurse)

(5) 生徒のアンケート結果より

Explanation test(説明テスト)は英語の力をつけるのに役に立ちましたか?

ア) Yes. 男16(46%) 女29(57%) 計45(52%)

イ) どちらかと言えばYes.

男16(46%) 女19(37%) 計35(41%)

ウ) どちらかと言えばNo.

男2(5%) 女3(6%) 計5(6%)

エ) No. 男1(3%) 女0 計1(1%)

理由

*自分の中にある単語が出てきた気がする。英語を話しているという感じがうれしかった。(ア)

*関係代名詞の使い方がわかりやすい。(ア)

*考えて話すのはすごく役に立った。(ア)

*練習の繰り返しで、すごく英語の力がついたと思う。(ア)

*新しく出てきた語は英語で説明できなかった。(イ)

*もっと単語や文法力がないと応用できない。(ウ)

5. 指導を振り返って

Explanation testの効果として、語彙の定着・広がりや説明力がつくことが挙げられる。そのためには、ものを説明する際のいろいろな視点を指導し、それを表現できる文型とその文型で使える語彙を適切に指導することが大切であると思った。名詞などの語彙は広げ、動詞などの語彙はそのいろいろな意味や使い方を深める指導が必要であると感じた。